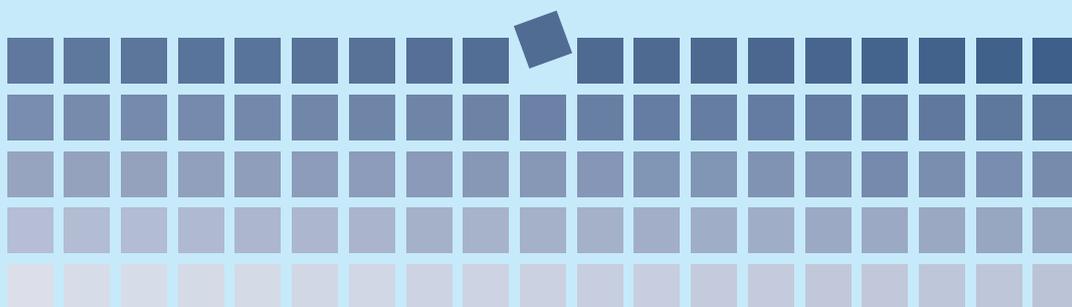


保育科学研究

第5卷（2014年度）



社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

発刊にあたって

日本保育協会保育科学研究所の平成26年度の研究成果をまとめた「保育科学研究第5巻」を発刊いたします。

24年度から総合テーマを掲げることとなり、本年度は「育つ・育てる」とし、サブテーマは「いま保育所で何がおきているか」となっております。

このたびは、この内容に沿った6件の他、指定研究として1件、計7件の研究所運営委員会において協議し承認された研究を掲載しています。この研究要旨については、研究所が年3回発行している「研究所だより」第17号で紹介しております。また本年度は、招待論文としてお一人にご執筆いただきました。

次の平成27年度の研究については、子どもが保育士と過ごす時間、家庭で保護者と過ごす時間とその内容等を再点検しながら、保育所で今起きている問題、諸課題について研究をするとして、総合テーマを「保育所保育と家庭の子育てとの連携・協働」としました。この内容に沿った6件の研究計画が運営委員会において承認され、研究が開始されています。これらの研究要旨については「研究所だより」第20号で紹介する予定です。

平成25年度の研究成果6件については、平成26年9月に開催した第4回学術集会において代表者による発表が行われ、併せて講演、シンポジウム等が行われました。この内容についても「研究所だより」第18号に概要を掲載しました。

なお、これらの研究所の発行物は日本保育協会のホームページ内、「保育科学研究所」からご覧いただけます。

今後とも保育科学研究所は、日本の乳幼児保育の向上を願い、保育実践・研究の各分野でご活躍の皆様参加を得て、保育を科学する研究を充実させていくために努めて参りたいと思います。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年3月

日本保育協会保育科学研究所長

巷野悟郎

目 次

発刊にあたって (巷野悟郎)

研究論文

保育士の経験年数別研修プログラムに関する研究 (青井夕貴) …………… 1

保育所における子どもの食に関わる支援に関する研究 (小野友紀) ……………21

保育所における園児を取り巻く多様な物的環境と、
子どもの基礎運動機能の発達に関する研究 (坂本喜一郎) ……………39

保育士の育成に関する研究—男性職員に焦点を当てて— (高橋智宏) ……………57

保育の現場における科学的思考とその根拠に関する研究 (東ヶ崎静仁) ……………85

保育所における人材養成をどのように進めるか (玉村敏郎) ……………106

〈指定研究〉

保育園サーベイランスの市区町村導入マニュアルの作成と、
保育所感染症対策への活用と普及啓発に関する研究 (菅原民枝) ……………119

招待論文

「乳幼児の論理的思考の発達に関する研究—自発的活動としての遊びを通して
論理的思考力が育まれる—」 (内田伸子・津金美智子) ……………131

(資 料)

日本保育協会保育科学研究所細則 ……………140

日本保育協会保育科学研究所倫理委員会細則 ……………142

日本保育協会保育科学研究所運営委員会 ……………143

